

「歯を守れ！予防歯科に命を懸けた男」を読んで。

つきやま歯科医院 口腔衛生部 歯科衛生士 小森祐子

最初にこの本の題名「予防歯科に命を懸けた男」という言葉を見たときに正直少し大げさでは？と思ったのですが、この本を読んでいくうちにまさにその通りだと納得できました。

熊谷先生の予防歯科に対する情熱、行動力、影響力は絶大で、人生のすべてを日本人の歯の健康を守るため、日本の歯科を変えるため、日本国民の意識をかえるために捧げているなということがよくわかりました。

地道な熊谷先生の努力のおかげでテレビにも特集されてオーラルフィジシャン医院も増えてきています。

一方周りの人を見ているとまだまだ日本人の歯に対する意識が低いことも感じます。一人でも多くの人的一生自分の歯で噛めるように予防の大切さを伝え続ける必要があると感じます。

この本はカンブリア宮殿を見た人にはよりわかりやすく、カンブリア宮殿を見ていない人にもまるで自分が実際に行ってきたような錯覚に陥るくらいにまわりの風景やその場の様子が詳しく書かれておりとても読みやすかったです。

歯科関係者だけではなく、いろんな方にこの本を読んでもらって熊谷先生の取り組みを知ってもらい、そして自分の口の中に目を向けてもらうきっかけになるといいなと思います。